



るらる

2010年
4月
No.748

■発行所■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-1
電話 03-3260-8631

■振替口座 ■00190-7-71734
■ウェブサイト ■http://www.jelc.or.jp
■E-mail ■jelc@jelc.or.jp
■発行人 ■徳野昌博 m-tokuno@jelc.or.jp
■印刷人 ■精文堂印刷株式会社 (定価1部40円)

教職授任按手式説教 あれも愛、それも愛、これも愛

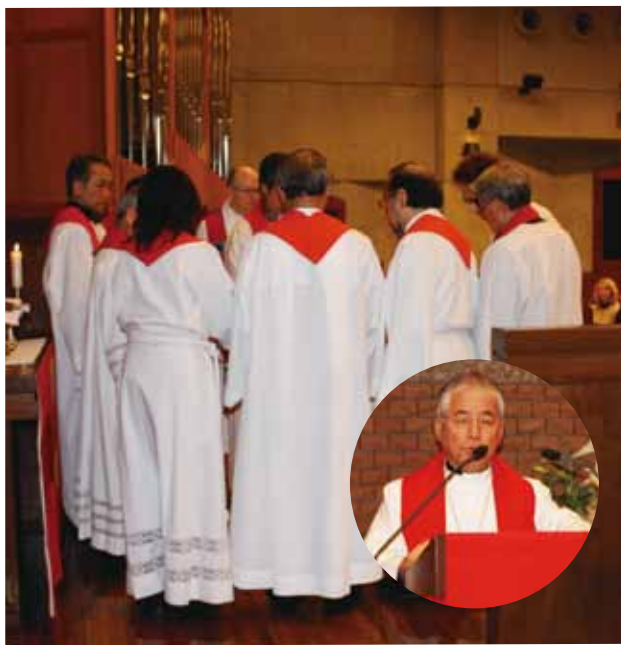
(マルコ6章45〜52節)

3月7日、教職授任按手式が宣教百年記念会堂にて行われ、高村敏浩氏が牧師補となりました。任地の一つである岡山教会からも牧師と教会員が参列されました。

ユダヤの諺に、「ワインを飲んでいて時間を無駄な時間だと思ふな。その時間にあなたの心は休養しているのだから。」というのがあります。逆風に悩まされる時間は、弟子たちにはどんな時間なのでしょう。

九州学院の元英語教師で、英語スピーチで日本一となる生徒を育てた谷口恭教先生が、著書でこんな話を記しています。

ある会社の人事部の人が、野球部員の就職求人のため訪ねて来ました。監督は、「ただ一人だけ残っています。でも、野球部の戦力としてお使いになるのな



ら、3年間一回も試合に出たことがありませんから彼を推薦出来ません。」と言います。「そうですか。一度もバッターボックスに立たなかった。よく辞めないで……、辛いこともあったでしょうに。その方、うちの会社に来ていただきましょう。私は将来、我社を支えてくれる人を探しています。この人なら幹部候補になります。その人は、涙を知っていますよ。」彼の就職は即座に決まりました。

「甲子園のマウンドに立っている人などほんの一握りで、後はみんな営々と部を支えているのです。自分の技術のまずさに嫌気がさし

たり、後輩がレギュラーに抜擢されたりで、止めようと思う人は何人もいないでしょう。でも、その辛い日々は、誰かが知っているんですね。いつかきつと誰かが支えてくれます。今誰も支えてくれないと思っている人は、まだその時が来ないのです。あなたの涙を知っている人が、この世に必ずいます。」(『生きるといいもんだ』より)

さて今、弟子たちは湖で突然の逆風に遭遇し、不安のただ中に置かれていま

け入れることが出来なくなってしまうのです。冷静に見ることの出来ない弟子たちの姿は、同時に私たちの姿でもあるのです。

それに対して、祈るイエスの姿があります。イエスは、十字架につかれる前に、ゲッセマネで祈られました。これは、神の子、救い主であると同時に人の子として、私たちと同じ高さで孤独と不安を味わわれた姿です。そして今日の聖書の中

でも、イエスは足を祈りの場へと向かわせ、そこで神と語らいの時を持ち、神との強い絆を明らかにされるのです。イエスが祈られたのも、神と等しくあるイエスが弱い私たちの側にいて下さり、弱さを神に委ねることにより、強さをも与えられることをご存知だからです。不安を超えることが出来るのは、祈ることだとイエスは示されます。祈りは人の世界と神の世界の間の扉の鍵と言えるかも知れません。

逆風でイエスを見失ってしまっているのです。これは何も弟子たちだけ限ったことではありません。私たちもその現実の真つただ中に置かれると同じことが言えます。不安で一杯になり、イエスを幽霊と見、もう救い主を受

けました。まさに弟子たちが逆風のただ中に置かれたこととどこか重なる思いがします。谷口先生は、「……あなたの涙を知っている人が、この世に必ずいます。」と言われます。これは、先生自身の神様の救いの体験に裏付けされたものでしょう。すると、「強いて」というイエスの側に身を置くとき、恐れることはないのです。これから遭遇する人生の逆風も、また私たちに突然訪れる試練も辛く苦しいことではありませんが、そこにも、神の「強いて」が働いているのです。何も嘆くことはありません。4月1日付けで赴任される高村敏浩氏がこれから遭遇するであろう一つひとつも、神様の「強いて」でしょう。

共について下さる神様を信じ、宣教者の道を感謝と祈りをもって歩み続けて戴きたいと思います。

「ワインを飲んでいて時間も神様がくださった大切な時間」なので、私たちは、「あれも愛、それも愛、これも愛」とすべて起こる出来事が、神の愛の現れであると思ふことができます。なら、どれほど幸いでしょ

う。きっとイエスは、「安心してなさい。わたしたち、恐れな」と手を差し伸べて下さいます。この一週間も、主の平安のうちに感謝と祈りをもって歩みましょう。

総会議長 渡邊純幸

ルター研究所開設25周年記念チャリティコンサート
3台のオルガンとトランペットの響演
3 ORGANS & TRUMPET

出演
オルガン 小林英之 (上野学園大学教授)
深井李々子 (東京ルーテルセンター教会オルガニスト)
湯口依子 (日本福音ルーテル市谷教会オルガニスト)
トランペット 山本英助 (国立音楽大学准教授)

2010年5月9日(日) 15:00開演(14:30開場)
日本福音ルーテル東京教会

風の道具箱

どうぞお先に

長女が「普通自動車運転免許証」を取得しました。子どもたちの成長の早さに驚いています。さっそく練習をかねてドライブです。ビックビックしながら乗るのかと思っていたら、わりと平気でした。

さて、初心者には1年間「若葉マーク」を自動車の前後に付けることになりました。面倒くさいので、自分が乗る時もそのままにしておきました。するとどうでしょう。初心者の運転と見られるのか、結構まわりの車の無茶苦茶ぶりに驚きます。

神様は私たちが焦らせたりになさいません。人生の歩みも「お先にどうぞ、あなたに合わせますよ」といつて下さいます。(柿のたね)

日本福音ルーテル教会

第24回定期総会

期日：2010年5月4日(火)〜6日(木)
場所：宣教百年記念会堂 (東京教会)

全国教師会総会

期日：2010年5月3日(月)〜4日(火)
場所：宣教百年記念会堂 (東京教会)

信徒の声

教会と私

三鷹教会 上野輝弥



Q出身を教えてください。

1930年に別府湾を望む日出町で生まれました。本籍は熊本市新屋敷町で、墓は日蓮宗の本妙寺にあります。この地に家族が舞い戻ったのは第二次世界大戦の終わりに近い1945年で、九州学院中学校の三年に転入しました。稲富肇院長に迎えられる転入生でしたが、数ヶ月も経たないうちに米軍機の爆撃をうけ熊本中が焼け野原になり、屋敷も焼け8月15日の終戦の日を迎えました。

Qキリスト教との出会い、ルーテル教会との出会いについて教えてください。

終戦後はじめて九州学院がキリスト教の学校であることを知りまし。大混乱の中で教育制度が変わり、新制の九州学院高等学校の一年生となりました。召集中の先生たちが軍隊から復職し、飛行予科練習生だった級友もいました。アメリカから最初の客船でこられた宣教師ミラー先生のバイブルクラス、大江教会に着任された内海季秋牧師の聖書研究会に出席し、友人数人と受洗しました。当時の大江教会青年会には後に牧師となった折田 古財、松本、内海さんたちが居ました。社会福祉を志した泉亮さん、宮崎国立病院院長になられた井上謙次郎さん、防衛

Qこれまでの三鷹教会との関わりについて教えてください。

1956年にミシガン大学で動物学を学ぶ機会を与えられコロラド河、リオグラ

ンデ、アリゾナやネヴァダ州の砂漠で、アジア大陸系で北米大陸で進化した魚を採集し、砂漠に這って化石を採集しました。1964年に創立の日本ルーテル神学大学に迎えられ、西恵三先生(東大・天文学)、松沢良子先生(後に国立民俗学博物館・文化人類学)とともに一般教養を担当しました。武蔵野教会から株分けされた三鷹教会が設立されるにおよび創立当初からの会員となりました。中央線沿線地区の諸教会から多大な支援をいただきました。江藤、立山、太田、平岡の諸牧師を経て、現在の李牧師に至っています。すでに20年が過ぎました。

Qこれからの三鷹教会との関わりとして考えておられることを教えてください。

創立以来、役員、壮年会長の働きとして会員相互の親睦の場として「われここに立ちかへ」として「われここに立つ会」を立ち上げました。映画、オープン講座を季節ごとに催し、会員のタレントをお役に立てることとしました。(例：ストレスを乗り越える森田療法・濃層から始めるトライアスロン・水族館で見るお魚の進化などを計画しているところ) 教会学校の出産者が15名を超えることもあり楽しみです。

牧師の声

私の愛唱聖句

日本ルーテル神学校校長 江藤直純

三度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか」。わたしは「わたしに従いなさい」。ヨハネによる福音書21章17-19節

四十余年前、大学生の時、「君の賜物と若い力を！」熱心な教会青年は、招きに手を挙げ、軽井沢でのディアコニアキャンプへ勇躍参加した。お盆でも帰る家もない重症心身障がい児六人と十二人の青年が六組の家族を作り、ドイツ人宣教師ヨハンナ・ヘンシェル先生の指導の下、一週間を過ごした。

そこで、僕が経験したのは、歩くことも叶わず、言葉もなく、食事も排泄も万事に介助が要る女の子サッチャンを、ペアのケイコさんとお世話すること。バリアフリーも車椅子もまだない頃、古く大きな乳母車での坂道の移動、おんぶしての階段の上り下り、盥(たらい)でのオムツの洗濯…。福祉も育児も何も知らない僕はクタクタになるまで働いた。

でも、サッチャンはニコリともせず悲しそうな顔(に見えた)。ついに三日目の夜、僕は呟いた、「アリガトウと言えなくても、せめてニコリして

てくれたら」と。ヘンシェル先生の「エトウ君、サッチャンハアナタヲ愛人レヨウト必死ナンダヨ」との一言にハッとさせられた。——なにが無償の愛だ、彼女の気持ちなど思いも及ばず自分に感謝されることを、自己満足を求めている！自己中心性、自分の罪をはつきりと見た。

施設に送り届けた後、武蔵野教会へ一直線。牧師にキャンプ体験のすべてを、「善行」の奥に潜む己の罪深さをも話した。じつと聴いてくださった石居正己先生は仰った「てうだね。でも、その君がいたのでサッチャンは

一番弟子であり、あのキリストの告白もしたシモン・ペトロ。なのに、あの三度の否認！主を裏切る弱さ、罪深さ。そのペトロに復活の主イエスは三度問いかけられる、「わたしを愛しているか」。ペトロの本性を百も承知で大事な役目を託される、「わたしの羊を飼いなさい」。そして、躊躇わずこの道を歩くように励ましてくださる、「わたしに従いなさい」。

——牧師にさせていただいて三十四年が経った。



私の本棚から

佐々木正美 『子どもへのまなざし』1998 『続・子どもへのまなざし』2001 福音館書店



医学・医療の世界でいえば、佐々木正美先生は極めて例外的な児童精神科医です。筆者にとっては、憧れであり、目標であり、そしてすぐそばで仕事ができたという幸運を密かに誇りに思う先輩医師でもあります。

「子どもへのまなざし」は佐々木先生の子育て講演集です。ただ、一般の会衆向けというより、打ち解けた雰囲気、少人数の佐々木セミナーでの講義速記録という趣です。子育てにちよつと迷う、どうしようかと立ち止まるときによく効く一冊です。一度でも先生の講演を聴いた方々は、本書の一行一行に先生の心地よいお声が響くでしょう。またの方々は、お読みいただいた後に、先生の講演会にでかけてみたいと思つて違いないかもしれません。

20年間にわたり、医療の立場から、神奈川県を中心に地域療育という新しいジャンルを開拓されました。ご専門は、ライフサイクル精神保健・医療福祉学とお答えになられています。先生が語りかける対象は、行政関係者や研究者というより、障害がある子どもを持つ親と、その支援に携わる保育士や幼稚園教諭、また小中学校・高校の先生方でした。今振り返れば、先生は障害を論じたのではなく、

さらに、本書のすごいところは、反響が大きく、読者からの質問とその回答を収録した、「続・子どもへのまなざし」が出版されたことです。佐々木先生のやさしいまなざしを十分に堪能できる至福の二冊をご紹介します。

横浜市中部地域療育センター 所長・日本発達障害学協会会長 原 仁 (むさしの教会会員)

日本福音ルーテル教会の社会福祉施設の紹介 その1

特別養護老人ホーム

慈愛園。パウラスホーム

社会福祉法人慈愛園は、大正8(1919)年にアメリカの宣教師ミス・モード・パウラスにより熊本市神水の地に設立され、キリスト教精神による福祉の業を実践し、赤ちゃんからお年寄りまでの生活援助を続けています。

パウラスホームは、昭和38年の老人福祉法施行を受け、翌39年7月に西日本で初めて病弱者老人専用施設として開設しました。

創立当初より、多数のボランティアの方々の支援とともに、超教派の教会婦人会の皆様によるボランティア活動に支えられています。特に設立草創期は便利な介護器具もなく、全くの手作業でした。その中で、教会の婦人会の支援活動は、当時としてはまだボランティアは普及していなかった時代ですから、施設にとって大変ありがたい活動であり、今年で創立46年を迎えようとしています。感謝しきれない存在なっています。

創立当初より、多数のボランティアの方々の支援とともに、超教派の教会婦人会の皆様によるボランティア活動に支えられています。特に設立草創期は便利な介護器具もなく、全くの手作業でした。その中で、教会の婦人会の支援活動は、当時としてはまだボランティアは普及していなかった時代ですから、施設にとって大変ありがたい活動であり、今年で創立46年を迎えようとしています。感謝しきれない存在なっています。

施設が活発に活用されております。

(パウラスホーム 副施設長 石川光男)

当施設は、施設内福祉からさらに地域にひろげるために、昭和62年にデイサービス事業、平成2年に在宅介護支援センターを市より受託、さらに地域の県営団地、市営団地の独居高齢者住宅の生活援助員派遣事業を受託等の地域支援に努めてまいりました。

そして、平成12年より、介護保険法施行に伴い介護老人福祉施設として新たな出発をしました。法施行はそれまでの措置施設から利用者サービス提供施設・事業所との契約へと、大きな転換をするこ

ととなりましました。現在、周辺地域の自治会・民生児童委員協議会・校区社会福祉協議会等との連携や交流の場として、



高齢者伝道シリーズ(P2 委員会)

より安心な高齢社会をめざして

社会福祉法人 慈愛園特別養護老人ホーム パウラスホーム

施設長 内田栄二 (神水教会員)



今まさに世界に誇る長寿大国日本。有難いやら、否や。当施設におきましても、世相に左右され影響を受けざるを得ません。

長寿化はめでたい反面、高齢者本人にとっても、周囲の家族にとっても、辛くて長い試練をもたらしことになりました。特に認知症や重度の身体介護を要する高齢者は、今後益々増加し続けます。

身近にいるどなたにお聞きしても、ほとんどの方々が自身と高齢者のごことで、心を悩ましておられます。どなたも高

齢者と同居し最期まで看取りたいと願われます。しかし、現実は大変厳しい状況です。

一方、老老介護のケースも多いのです。これも思いとは裏腹に、いつまでも続けることが出来ずに、ある日突然一方が入所(入院)せざるをえない事態が起こりやすいのです。

当施設においてのご利用者やその家族、同居相談におみえになる家族の方々は、夫々に長寿社会がもつ重荷を背負っておられます。当施設の掲げる聖書の言葉は、「自分を愛す

るようにあなたの隣人を愛しなさい」です。この言葉は、特に昼夜を分かつず介護を担当する職員にとっては、心身を支え、励ましとなっております。

私としては、介護というパントマイムを通じて、主の証しとなるよう願っております。施設のあらゆる営みによって、少しでもより安心な高齢社会に貢献できれば幸いです。

(事業内容) 設立昭和39年7月20日 入所定員 62人 短期入所 18人 職員 施設 55人 他に在宅福祉の部17人



ルター研究所開設 25 周年にあたって

所長 鈴木 浩

ルター研究所が今年 10 月、開設 25 周年を迎えます。それを記念して次のような企画を立てました。

- ルターが破門状を焼き捨てたヴィッテンベルクの広場に立っている榎の木の子孫(同じDNAを持つ榎の木)の植樹式(4月24日)。
- ルター研究所開設 25 周年記念チャリティーコンサート(東京教会、5月9日 本紙1面にも案内あり)。このコンサートでは日本を代表するオルガニスト、小林英之、深井李々子、湯口依子の3氏による3台のパイプオルガンの協奏に、同じく日本を代表するトランペット奏者の山本英介氏の演奏が加わります。
- ルターの説教(1533年)の初版本(世界に数冊)の復刻出版と徳善名誉教授による翻訳の出版。この初版本は一昨年、ルター研究所が入手しました。
- 『ルター新聞』の紙面を一新。4月号から文字を大きくし、読みやすくした紙面に変わります。
- 『ルター研究』(第10号)の発行。ルーテル学院創立百周年を記念して行われた連続神学講演に加えて、所員の書き下ろし論文を掲載します。
- 「ルター著作集第二集」の第六巻『ヨハネ福音書』の出版。
- 特別講演会(10月頃を予定)の開催。

【お願い】

こうした企画を推進するために、「後援会募金」(ルター研究所指定献金)をお願いしています。後援会を通じてルター研究所指定献金をしていただきますと、そのまま賛助会員として登録され、「ルター新聞」の戸別郵送、「公開講座」受講料の割引などの特典があります。また、2万円以上の献金をいただいた方には、「ルターの説教」を贈呈いたします。よろしく願いたします。



ヴィッテンベルクのルター-の榎の木



左の木の子孫

長い間ごくりつさまでした 引退教師あいさつ

「仕える者の心得伝授」

清重尚弘



忘れもしません。新米教師時代に、会員で商船の機関長からいただいた教えます。

上司の心得として、部下よりも一日前に船に乗り込み、一通り入念にチェックをしておく。後から来た部下に「このことあそこを点検しておいてくれよ」と、指示を出す、部下がいつてみると、そこには手入れを要する箇所がある。すると、部下は、機関長は普段ポーっとしているようにだけ、見るところは見ているんだなと、敬意を払ってくれます、というのです。

翌朝から私は近所の誰よりも早起きして、教会の庭を掃除し近所の様子を見て回り、通る人に挨拶をしました。
今もこの心得が役に立っています。

「恵みの先行性」

山之内正俊



34年間の牧師としての歩みの中で心がけたことは、恵みの先行性ということでした。信仰のみというとき、救われるための行いが否定され、信じることでだけが求められる訳ですが、その信じることで、神様の恵みによって起こる、ということに絶えず確認しながら説教をして参りました。宣教の第一線を退いても、この信仰の姿勢だけはしっかりと持ち続けて参りたいと思っております。

敢えて言い残しておきたいことは、収益事業は補助車ではないという私たちの教会の基本方針を忘れず、一日も早く、経済的依存体質から脱却してほしいということです。
先行する神様の恵みに信頼して、それぞれの道で、伝道に励んで参りましょう。感謝！

最後に次のみ言葉を残させていただきます。「わたしたちが正気でないとするならば、それは神のためであつたし、正気であるならば、それはあなたがたのためです」(コリ5・13)。どうぞ、わたしのこれまでの失礼をお赦しください。

引退牧師からの一言

重野信之



わたしは3月をもって、日本福音ルーテル教会を定年退職いたします。ふり返りますと、半田・釜ヶ崎・室園・名古屋・静岡・鹿児島・神水の諸教会で牧会させていただきました。いづこの教会も思い出深いものがありますが、特に神水教会ではわたしにとつては「ディアコニア」の集大成として働くことができました。

今日までの39年間、牧師生活を送ることができましたことを神さまに感謝し、わたしをかわらぬ愛と友情によって支えてくださった家族や親戚友人たち、すべての皆様から感謝を申し上げます。

最後に次のみ言葉を残させていただきます。「わたしたちが正気でないとするならば、それは神のためであつたし、正気であるならば、それはあなたがたのためです」(コリ5・13)。どうぞ、わたしのこれまでの失礼をお赦しください。

「日本・フィンランド交換宣教ツアー」のご案内

2010年はフィンランドから最初の宣教師が来日して、110年を迎えます。この「宣教の歴史」の節目の時を感謝をもって覚えるために、日本福音ルーテル教会とフィンランド・ルーテル福音協会(SLEY)は共同事業として、日本からフィンランド及びドイツを訪ねる、「日本・フィンランド交換宣教ツアー」(総勢30名)を計画しました。

フィンランド旅行の受入母体は、日本福音ルーテル教会と宣教の提携関係にあるフィンランド・ルーテル福音協会ですが、旅行の全日程の手配と責任はJTB法人東京に一括して依頼しています。参加希望の方は各教会に送付されている旅行案内パンフレットに付いている申込用紙を5月10日までに、JTB法人東京にお送りください。2010年6月30日(水)～7月12日(月) 13日間

団長:渡邊純幸(議長) 副団長:岡田薫(北海道特別教区長)
旅行代金:お一人様 485,000円(成田発着 燃油付加料金含む)
主なプログラム:OhotakariでSLEY福音大会に参加とドイツ受難劇鑑賞 参加人数:30名(募集人数になり次第締め切り)
旅行実施:JTB法人東京
締切日:2010年5月10日(月)



ルーテル連帯献金緊急支援 ハイチ大地震

1月12日、中米カリブ海の島国ハイチで、マグニチュード7.0の強い地震が起き、首都ポルトープランスでは多くの建物が崩壊し、20万人に上る多くの被災者が出た「ハイチ大地震」は、日本福音ルーテル教会もLWFの呼びかけに応じて、全国の教会に支援をお願いしています。3月20日には、LWF-ACTION by Churches Togetherを通じて100万円を送金しました。この緊急支援は4月15日まで受け付けておりますので、ご協力をお願いします。
▼上記献金の送金先▼
「ハイチ大地震」と明記して、以下の口座に送金くださるようお願いいたします。
郵便振替
001907171734

東海地域教師会報告 「現代の宣教」

一 牧師研鑽の検討
土井洋(高蔵寺教会)

教会の働きは、み言葉の宣教が支柱です。教会に遣わされた教師は、み言葉に遣わされた教師は、み言葉に遣わされています。

教会は、み言葉に遣わされた教師と、み言葉に集められた人々と共に、み言葉を宣べ伝えま

す。み言葉とは、日曜日礼拝で朗読される神の言葉としての聖書であります。

み言葉自体は不変である、聖書自体が述べています。しかし、み言葉を聞く私たちの時代は、めまぐるしく変化してい

ます。それゆえ、み言葉の内実と私たちの生活との間には、大きな乖離が見られます。不変のものと変化するものとの乖離は、時間的・空間的に当然のことです。

しかし、それ以上に大きなことは、「神の意志」と「人間の思惟」との隔たりです。これも、当然と言えは当然のことです。これらの「隔たり」

す。これら「隔たり」といかに取り組むべきか。今日の説教者の課題です。

このような問題意識のもとに、2009年11月24日～26日、東海教区教師退(研)修会が、静岡県立森林公園「森の家」で行われました。

会期中、二つの発題と発題に関する討論が行われました。会のまとめに「現代の宣教」への取り組みとして、小グループの「研究会」を立ち上げることが決まりました。

2010年度人事 教職人事異動

(*教務略)

■人事異動(2010年4月1日付)

- 坂本千歳 函館教会主任
- 関野和寛 東京教会主任
- 渡邊 進 栄光教会主任
- 藤井邦夫 寧教会主任(兼)
- 田中博二 沼津教会主任(兼)
- 復活教会主任(兼)
- 鈴木英夫 刈谷教会主任(兼)
- 永吉秀人 岡山・松江・高松教会主任(兼)
- 角本 浩 神水教会主任
- 小山 茂 鹿児島・阿久根教会牧師補(一般用へ変更)

九州ルーテル学院
(2010年4月1日より2年任期)
清重尚弘 学長

■宣教師
(2010年9月1日付)

- (着任) ポウツカ・マルティン スオミ教会主任
- 信徒宣教師 (2010年1月1日付)
- ラトバラスク・ミカ&ティナ 東教区付(武蔵野教会・大岡山教会・ネット伝道)
- ヨシムラ・ヒロアキ&パイビ 東教区付

(2010年9月1日付)
(退任) ヘイツキネン・パワウォ (2010年6月30日付)
フレデリクソン・チャールズ (2010年6月30日付)

■新任
(2010年4月1日付)
高村敏浩(新任・牧師補)
岡山・松江・高松教会(西教区)

■嘱託任用
(2010年4月1日付)更新
伊藤早奈 東教区付
後藤直樹 荒尾教会
内藤文子 栄光教会

■牧会委嘱

(2010年4月1日付)
中村圭助 甲府教会・諏訪教会(更新)

山本 裕 浜名教会(更新)
藤井 浩 沼津教会(新)
戸田 裕 復活教会(更新)
重野信之 刈谷教会(新)
森 勉 広島教会(更新)
※但し、2010年6月30日終了

松隈貞雄 宇都部教会(更新)
早川顕一 聖ペテロ教会(更新)
Aエリス 甲佐教会(更新)
■牧会委嘱終了
(2010年3月31日付)
V ソベリ 函館教会

■定年引退

(2010年3月31日付)
清重尚弘
重野信之
山之内正俊

住居移転のお知らせ

宮本威先生(引退教師)
新住所 674-0068
明石市大久保町ゆりのき通1丁目2-12
センタースクウエア1-1502
電話 078-920-9210 (Fax 共用)

東和春先生
新住所 221-0843
横浜市神奈川区松ヶ丘8-5
電話 045-3323-1820